

令和2年6月12日

医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業
e-ASIA 共同研究プログラム
事後評価コメント

研究開発課題名	タイ肝吸虫症による住民の健康への影響調査：カンボジアとベトナムでの罹患実態調査と肝臓がんリスク調査
研究開発機関名	国立大学法人山梨大学
研究開発代表者名	宮本 和子

これまで科学的な調査・研究があまり行われてこなかったカンボジアにおけるタイ肝吸虫の流行状況調査及び肝機能検査などのリスク調査を全国規模で行い、淡水魚生食の可能性のある24州（全27州中）の罹患実態を明らかにした。また、住民主体型の予防活動を行い、カンボジアの保健対策へつながる可能性を示した点は、現地の医療に貢献するものである。さらに、若手研究者との研究交流も活発に行われ、日本側研究者チームの研究技術の移転が行われた。

しかしながら、本分野で調査研究が進んでいるベトナムとの連携が少なく、研究交流においては日本側チームによるカンボジア訪問がほとんどであり、両国の研究チームの日本における研修が望まれる。また、濃厚感染者に肝内胆管がんを疑う所見はなく、タイ肝吸虫症と肝がんリスクの検証がなされていない。

今後は、検便調査法の感度を上げるための改善、カンボジアの自律的な研究体制の構築に向けた各国のさらなる協力が期待される。

以上